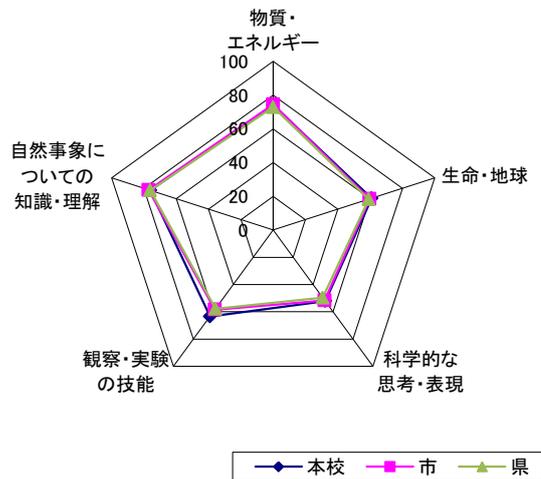


宇都宮市立峰小学校 第4学年【理科】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

| 分類 | 区分 | 本年度 | | |
|-----|----------------|------|------|------|
| | | 本校 | 市 | 県 |
| 領域等 | 物質・エネルギー | 74.1 | 74.5 | 72.9 |
| | 生命・地球 | 61.0 | 59.8 | 59.2 |
| 観点 | 科学的な思考・表現 | 52.1 | 51.6 | 49.7 |
| | 観察・実験の技能 | 63.3 | 58.4 | 57.7 |
| | 自然事象についての知識・理解 | 76.1 | 77.0 | 76.2 |



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分 | 本年度の状況 | 今後の指導の改善 |
|----------|--|---|
| 物質・エネルギー | <p>○正答率は74.1%となっており、県の平均をやや上回っている。</p> <p>○光の性質では、反射させた光を重ねた時の明るさの違いをよく理解できていた。</p> <p>○電気を通すつなぎ方について、導線の安全なつなぎ方や、電気のかき方から回路の様子を推測することがよくできていた。</p> <p>●ゴムの働きについては、実験の結果からゴムの伸びを推測することの正答率が低かった。</p> <p>●電気を通すものと通さないものの分類について、理解が不十分であった。</p> | <p>・フォローアップシートを定期的に活用し、知識の定着を図る。特に、電気を通すものの特徴については、しっかり理解できるように重点をおいて指導する。また、「電気のはたらき」の単元の中でも触れ、繰り返し指導していく。</p> <p>・授業の中で、実験の結果から分かることを、生活経験を思い起こしながら考察し、表現できるようにする。また、実験を通して体験的に理解したことを、文章だけでなく図やグラフにしてまとめる経験を重ねることにより、思考力を高めていく。</p> |
| 生命・地球 | <p>○正答率は61.0%となっており、県と市の平均を上回っている。</p> <p>○昆虫の体のつくりについて、育ち方には一定の順序があることをよく理解している。</p> <p>○昆虫が卵を産む場所と食べ物、また体の色と住む場所を関係付けて考察できている。</p> <p>○昆虫や植物に関するグラフを読み取ることがよくできている。</p> <p>●かげの向きと太陽の動きの関係について、理解が不十分であった。</p> <p>●日なたと日陰の地面の様子の違いについて、正答率が低かった。</p> | <p>・「月や星」の単元の中で、太陽の動きについても触れ、既習事項を想起させたり、実生活と結び付けて考えを表現させたりして、知識の定着を図る。</p> <p>・「天気と一日の気温」の単元の中では、日なたと日陰の気温の違いにも着目させ、地面の様子や植物の成長の違いがあることを振り返る。</p> <p>・知識の定着が不十分な分野を、4年生の単元の学習の中でも触れ、系統性をもって指導し、理解を深められるようにする。</p> <p>・フォローアップシートを活用し、知識の定着を図る。</p> |
| | | |